東載叢書

三十三

特別
イ4
696
133

696
133

目録

一 米穀出役者
一 紀州出役者
一 同四月十七日公儀使者
一 諸国巡見被定
一 草物語 巻別冊
一 引疱瘡者

内閣文庫

一無衛使治世務
一横山郡奴婢

水戸侍従名大概
紀州侍従名大概

御文章役者大概

御教化用意　老僧

大書　合　仮遠

御筆　年号

小書　仮書

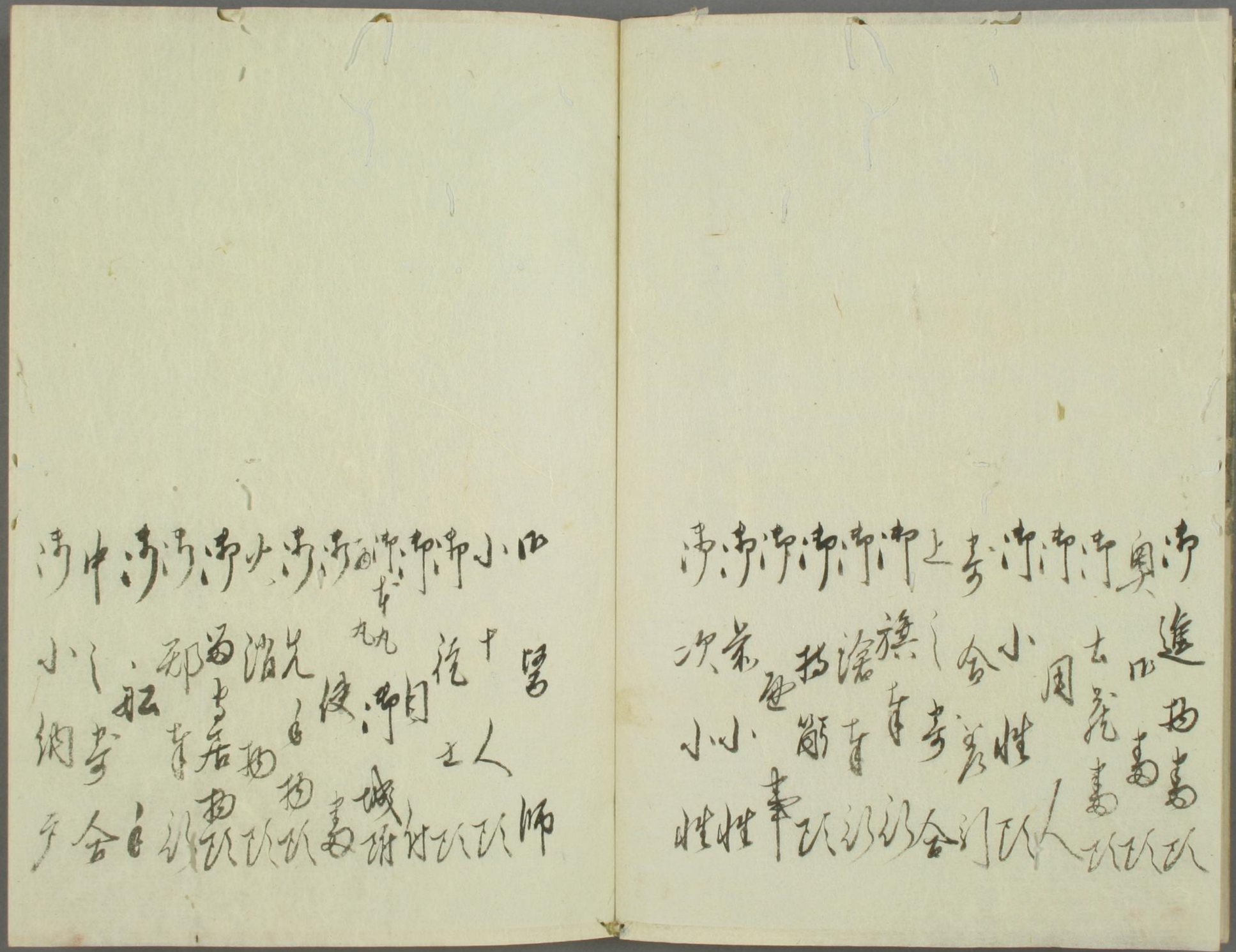
御仏間用人

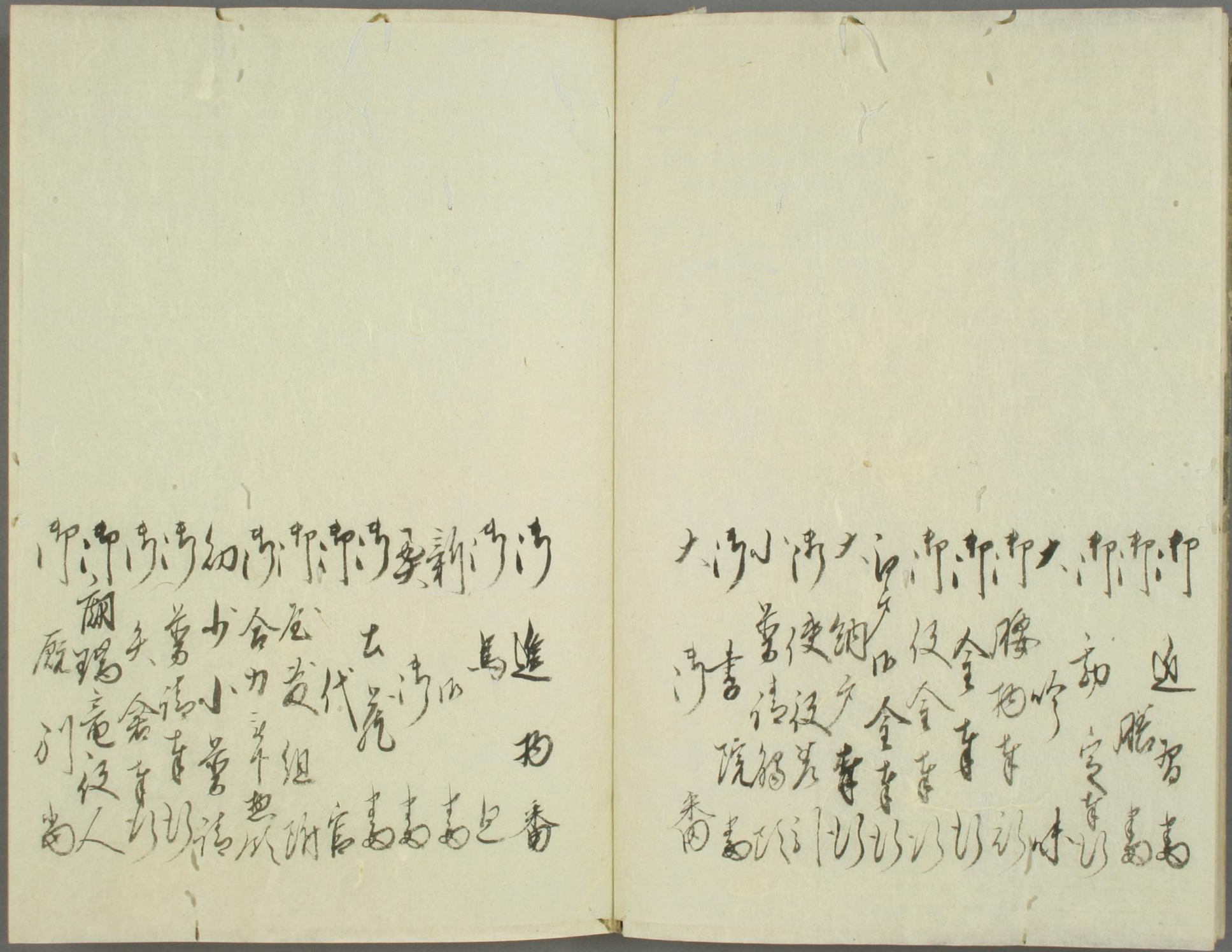
御書院　仮書

社寺

御馬屋　仮書

新仏書　仮書





不規式

伍伍伍伍武伍　明清清海伍　方清

步武進徒　同　買　湘　老洋洋洋　矣舍小綱之　文模伍代安　卷書

行卷　沒有　拍　馬　沒有　沒有　沒有　沒有　沒有

小奏清日清吟清下清清清清清

十伍經　書帳石　時世　小面　找者　案卷經

人伍通設筆　沒有　沒有　用　家　未書　書伍　而

沒有　沒有　沒有　沒有　沒有

加大概

英蘭度
水戸

四史　四中　四字
四周　四文　四物
四正　四周　四書
四　四　四　四　四　四
四　四　四　四　四　四
四周　四目　四方　四合　四
四周　四目　四方　四合　四
四周　四目　四方　四合　四

度　度　度　度　度　度
訓　訓　訓　訓　訓　訓
度　度　度　度　度　度
周　周　周　周　周　周
周　周　周　周　周　周

度　度　度　度　度　度
周　周　周　周　周　周
周　周　周　周　周　周

記歌行役帳大概順

大河　大概　大三　大河　大河　大河　大河　大河

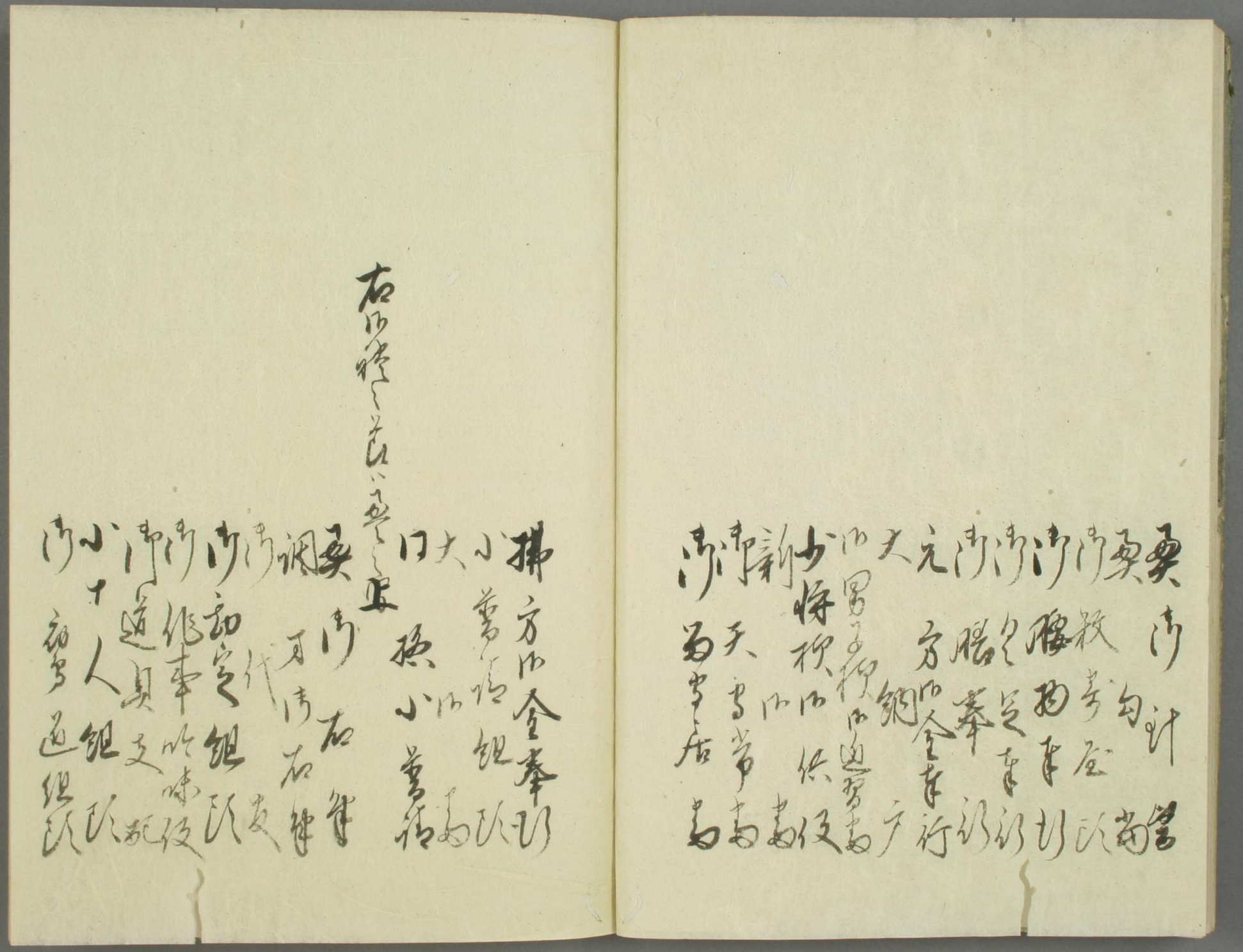
黄帝　使用　四書　武城　側河　書

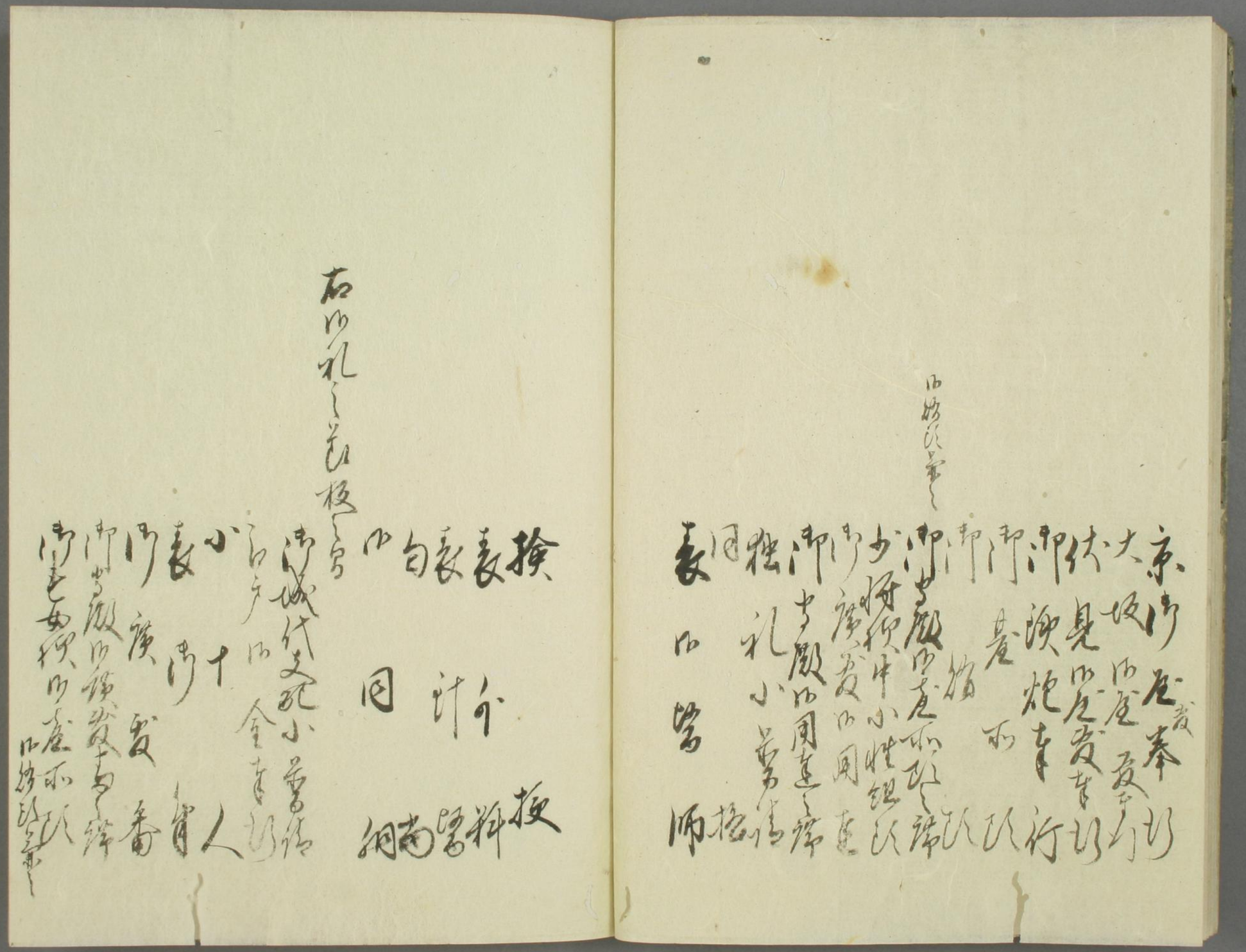
御定書　御定書　御代　代　代　

右布改之

松根坂町市
東町門番
光右衛門
小網町
天満
九郎兵衛
小網町
十人町
小網町
十人町
十人町
十人

○





右御門見分之

[illegible]

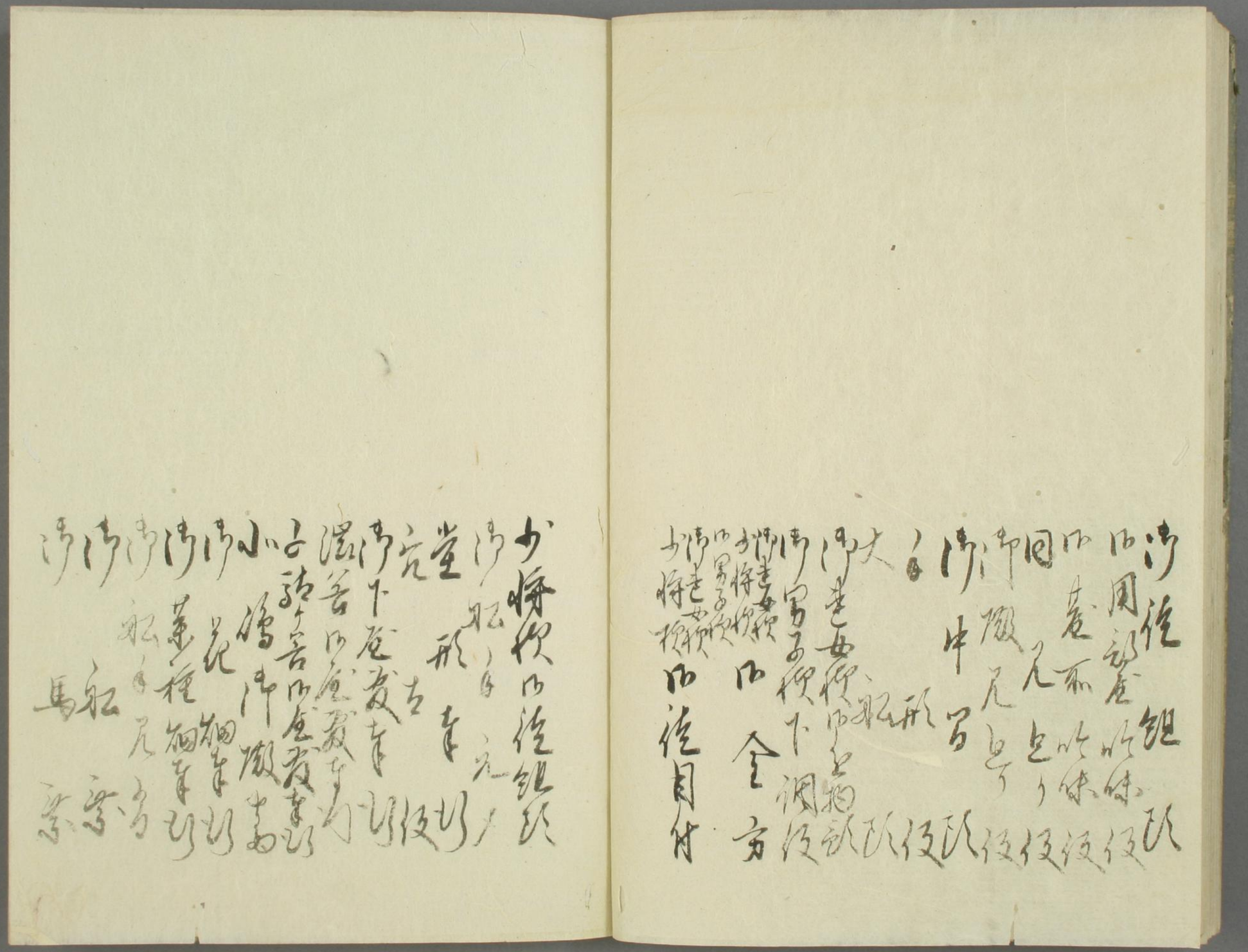
[illegible]

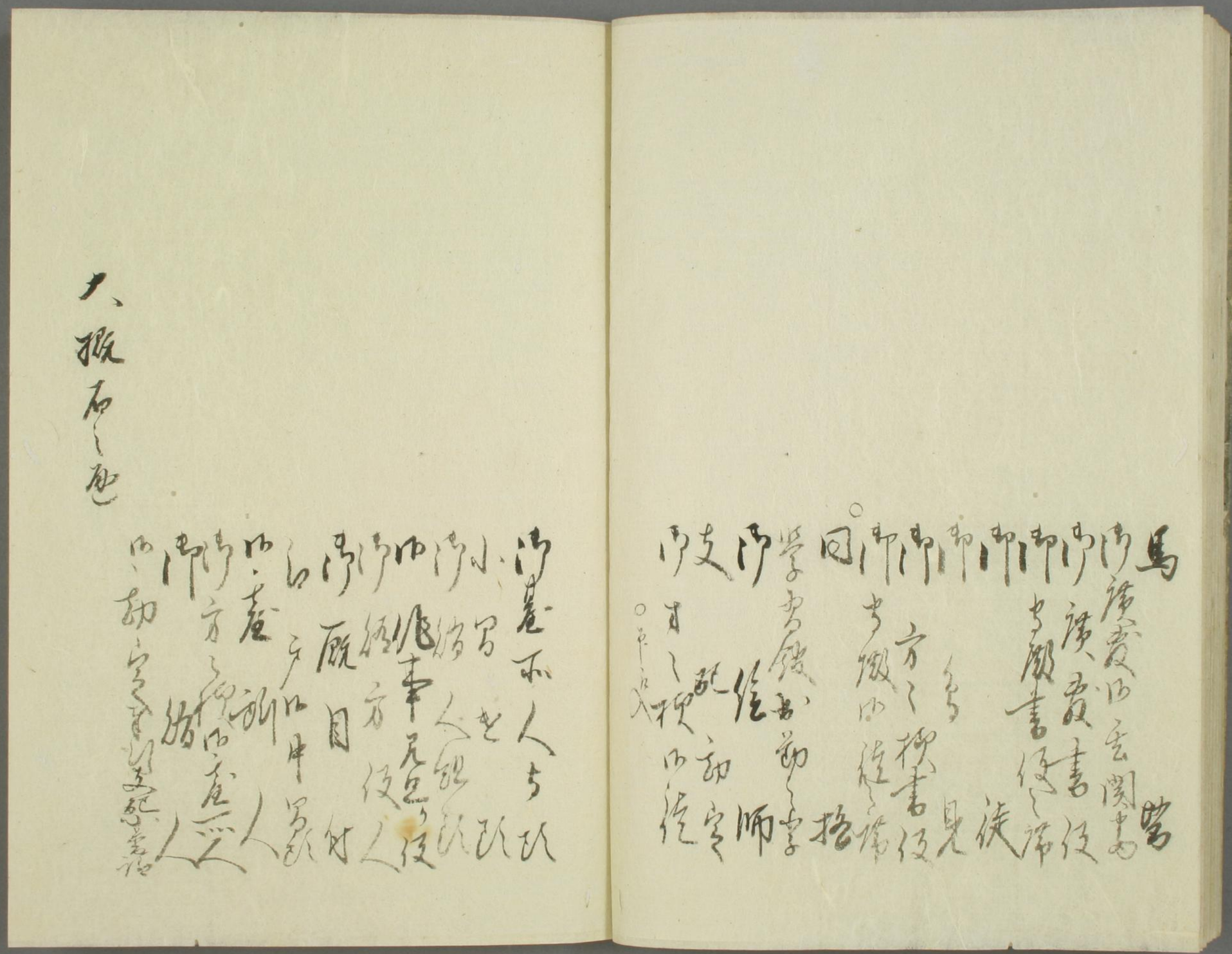
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]





於紀州和歌山四月十七日
東照大權現御祭禮之次第

一家中ハ根来之者　百人　出
一角力ハ反　拾五人　出

大男ハ髪式角前髪ハ
黒羽織ハ大小ハ於
門前ハ羽織ハ

一御子頭　侍人
一山林
一山役人
一山鍛冶
一山鍛冶　七人　出
家内四人

一小姓衣　十四人
一同衆法師　六人
一巻物之人数　三人
一中間衣　三
一惣屋敷　一年の間召し置
一晴明　六人
一女面　五人
一猿　十五人
一籠賀瀧　十五人
一辻子陣　十五人
一山伏
一般若院
多門院

一巫女
一神主
一能楽師
一唐書
一大学衆
一大教瀧
一長力つり
一拾七歳　一般若院
一八人歩行
一六人能楽
一法印坊
一拾人中
一大男男女
一拾七歳　一般若院
一擔頭持小袖
一師範
一師長力
一師弓　三
一三本
一三節
一二振
一三張

一印鈴地　三如好
一印古刀　二條
一印児子　上六人
一祈宮　三宮
一神馬　真六人
一神輿　三足
一丹一　東照權現　勢地菩薩
丹二　日吉權現　勢地菩薩
丹三　摩多羅權現　勢地菩薩
一雲海院僧　面
無ノ面　児子　男人　生年十四
海者小僧古ノ人
一駒馬　法師
拾人　如意輪

一弓
一印鈴
一鉄砲山所中ニ所代ノ人
以上

御關所規定

外記

諸国

御関所

箱根

大久保出羽守

箱根

一 女浦尼尼五尼 当切小女 男女九

内人 男女 前男女 元数 男女九

有之 改出 男女

一 武具 法度 不律 男女

一 夜中 一切 不通

但 夜中 方角 有之

出 男女 男女 有之

箱根川

大久保出羽守

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一夜中[illegible]

上[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一夜中[illegible]

[illegible]

上[illegible]

一夜中一切[illegible]

[illegible]

[illegible]

一

一

一

一

一

一 [illegible]

上ゟ五神

一 女神尼[illegible]

右[illegible]

一 上[illegible]

一 [illegible]

上ゟ確水

一 女神尼[illegible]

右[illegible]

一 [illegible]

上ゟ[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 夜中一切不相通[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

但[illegible]

一 武[illegible]

一 夜中不相通[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

知久監物

上巻

一 女[illegible]尼[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

上巻

一 女[illegible]尼[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

但[illegible]

一[illegible]

但[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一

上師
南牧
西牧
白井

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

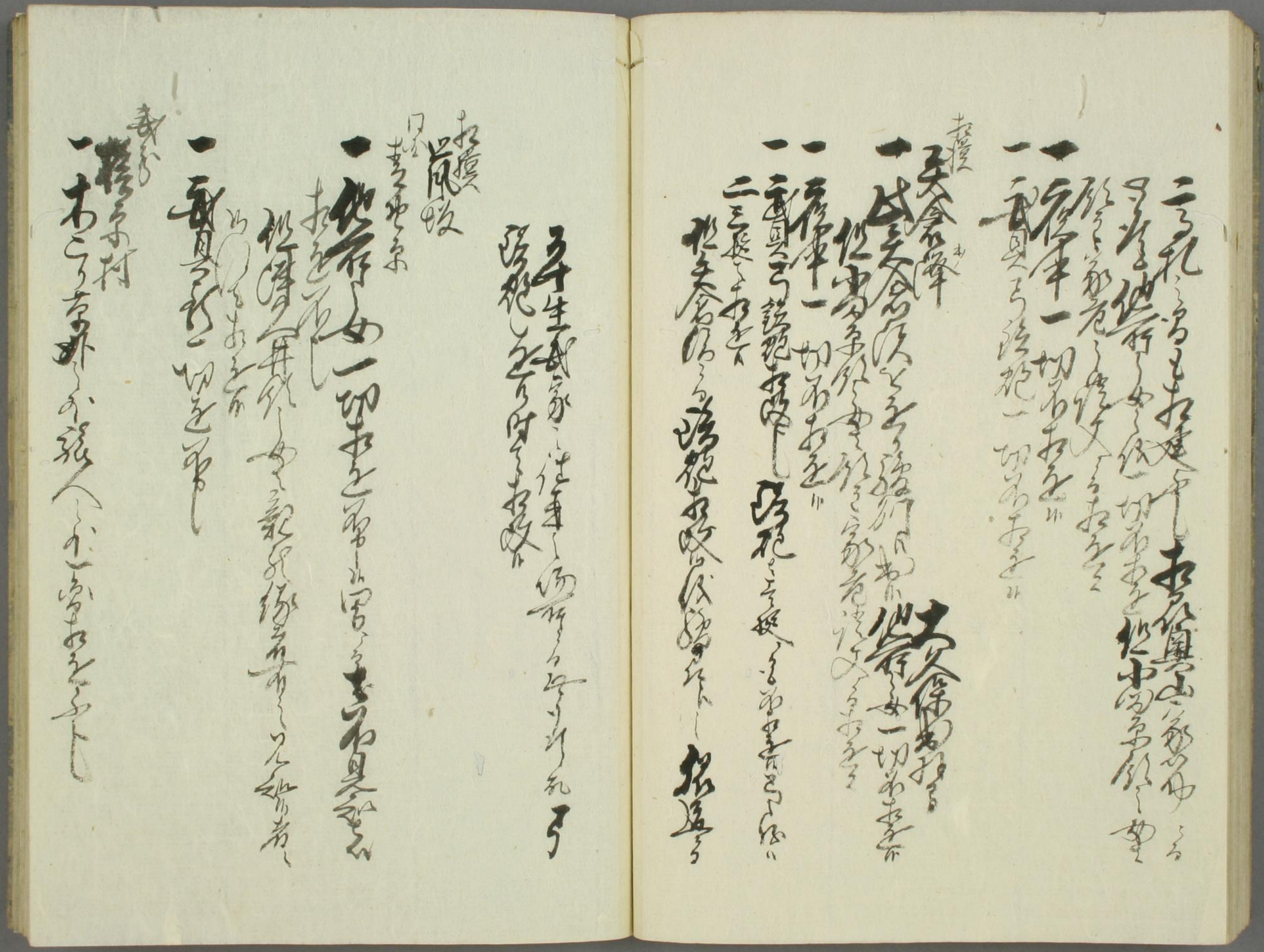
一　切而無之

一　前書家中ニ[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　



[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

武蔵国高麗郡
小谷
上総国高麗郡
所川
武蔵国高麗郡
金井
上総国高麗郡
松戸
武蔵国高麗郡
戸川
上総国高麗郡
中西
武蔵国高麗郡
新七

仁左衛門
小兵衛
仁左衛門
小兵衛
二郎左衛門
和泉
所新兵衛

庄兵衛
上総国高麗郡
関宿
上総国高麗郡
五郎

以上
四月

[illegible]

[illegible]

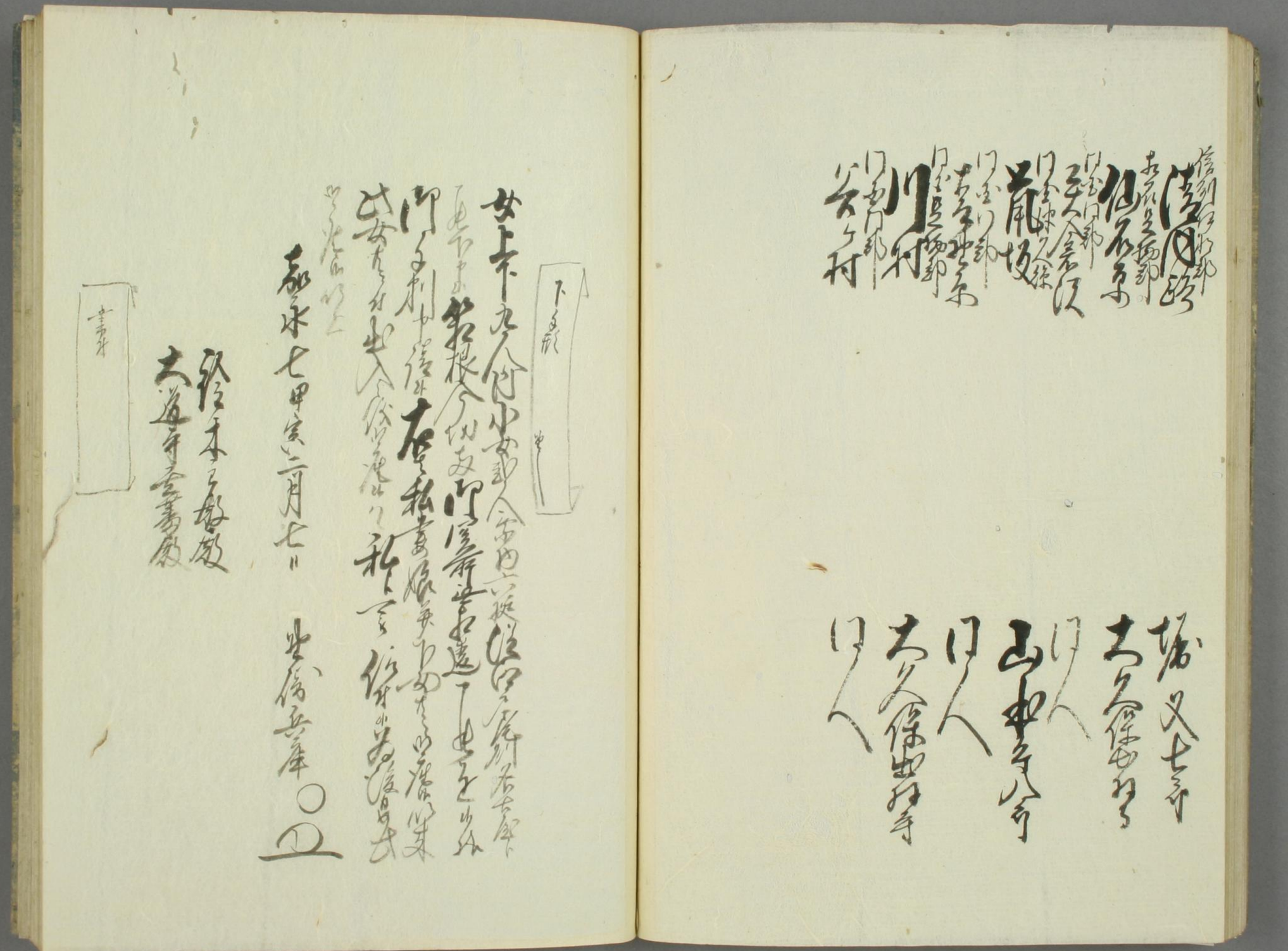
[illegible]

上京甘棠郡 西牧
日本門郡 高牧
武州多摩郡 柏原
日本門郡 上相田
日本門郡 上君方
上京粉河郡 福徳
日本新嘉郡 真弓

仁京中井
日人
日人
日人
日人
壬辛大和
日人

日本門郡 大淀
日本利郡 戸倉
日本甘棠郡 白井
日本吉野郡 野宿
紀後 出川
日本 山口
信濃郡 熱川

日人
地名福屋
仁京中井
日人
松平月野
日人
山村甘棠郡



一女十六人
内

一前髪先切揃ル者
一髪ヲ丸中剃ル者
一髪ヲ丸中剃ル者

娘 小女子人

一三歳ヲ有ル者
一髪ヲ丸中剃ル者

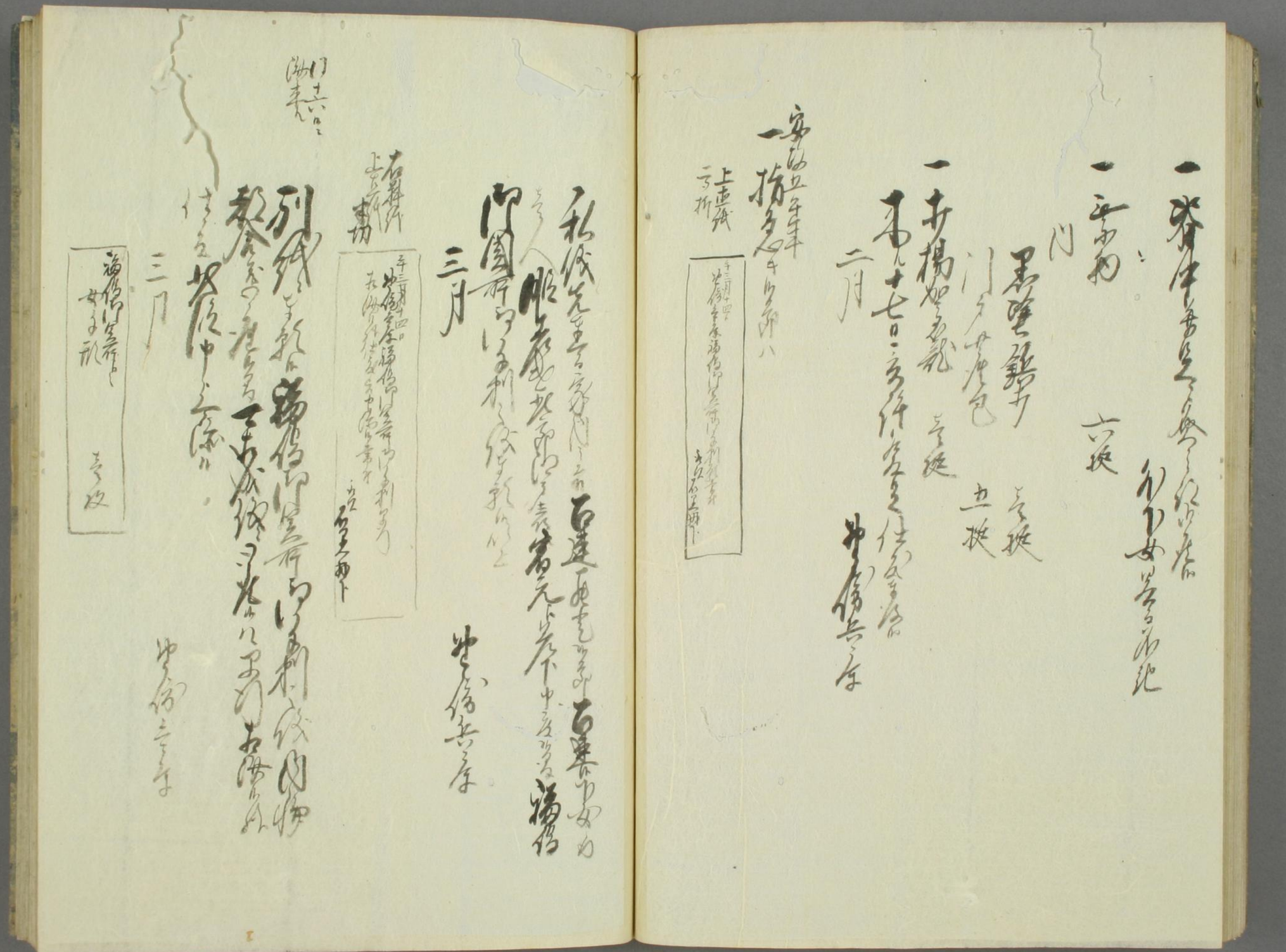
娘 小女子人

一前髪先切揃ル者
一髪ヲ丸中剃ル者
一髪ヲ丸中剃ル者
一髪ヲ丸中剃ル者
一髪ヲ丸中剃ル者

娘 小女子人

一前髪先切揃ル者
一髪ヲ丸中剃ル者
一髪ヲ丸中剃ル者

小女子人



[illegible]

安政五年三月廿四日

山村[illegible]

[illegible]

一一組[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

安政元戊年四月

[illegible]

[illegible]

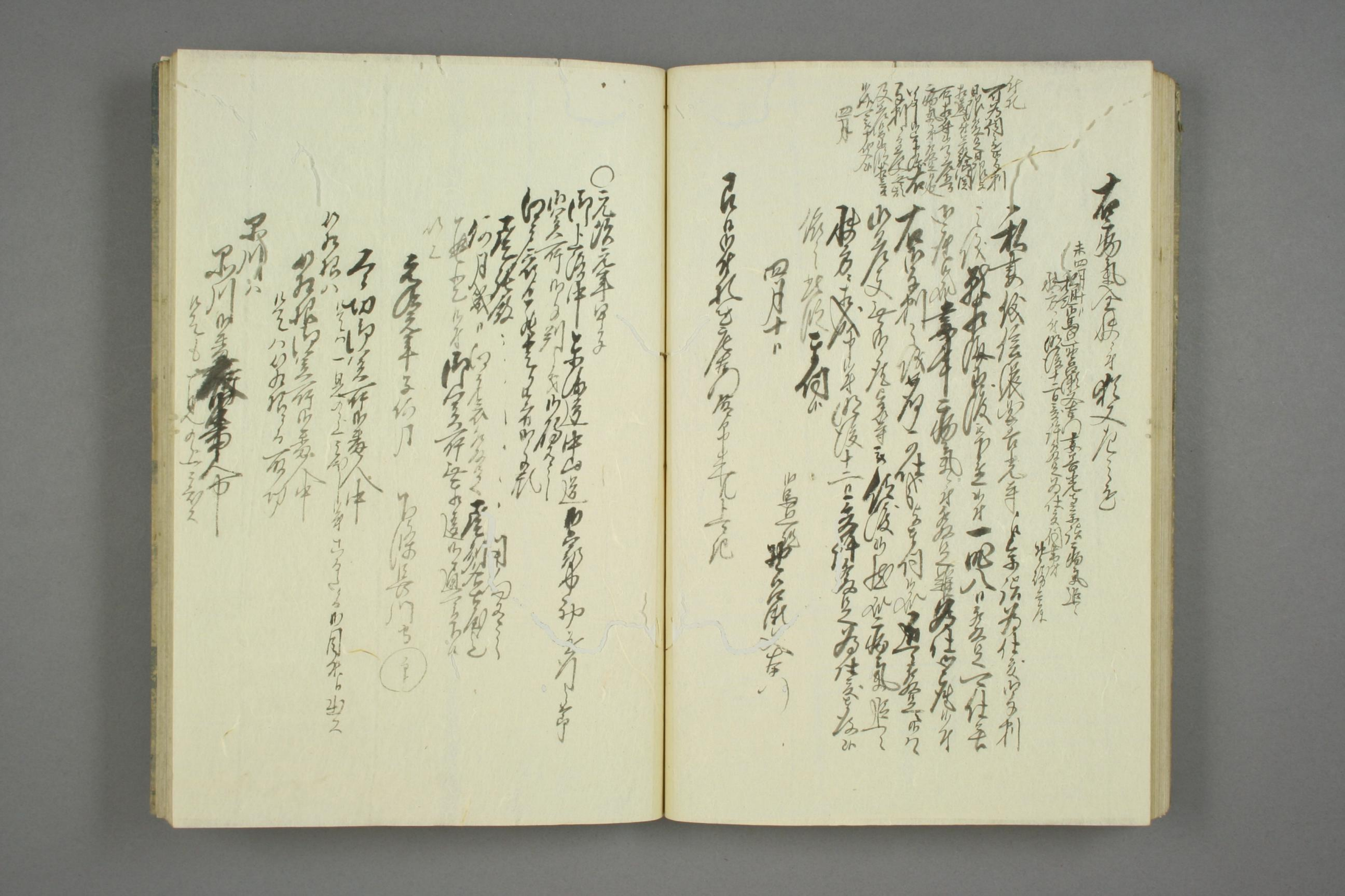
[illegible]

安政六未年四月

野宿之扉 (下)

四月八日

[illegible]



草物語

抑義朝卿の苗裔中八往昔
所先祖景廉公に山城守国定家の
[illegible]景廉公に頂る七騎の
中に[illegible]
[illegible]先祖八幡太郎義家の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中興開山一秀大和尚
[illegible]
[illegible]
[illegible]

引痘夜話

禁賣價

自然堂藏版

引痘夜話

此引痘の詳説、高渡りたるものなれば、疑惑の解るやうに摘でしるすべし。一たび痘瘡発すれば、一次患と二次患とあり、面白きものなり。痘瘡の胎毒の外表に発するものなれば、引痘を種て自然痘を患ゆるものなり。其後の種ゆる痘は、いつも一度の其餘毒の為に脳かとなり、俗人を教諭する詳説なり。愚昧かとの如き道理と思い、引痘を疑惑す。痘瘡を胎毒と思ふ人は、いつも痘瘡の理を知らぬものなり。日本人も小児が皆胎毒と脳と有るものなり。自然痘を患ゆるは其餘毒なり。

不具となるものあり。此理を能考へて痘瘡は胎毒と異病と思ふべし。詳説余著書の牛痘全書及麻疹全書と書のうち見るべし。抑此引痘は是まで我邦なく絶たるは大きに異なり。其根原は「イギリス」なる「ジェンネル」詳説試験の「オランダ」「オロシヤ」其隣國なる所に引て満清は四十六年前に入て、指失の復費なるものの形なり。今の近たるは書渡りあり。日本にも引痘新法全書といふ書あり。此如くの次第なるは、四十年前に当て、其後は「オランダ」より此法を記す書なり。西洋家のみなる。然れ共其痘苗は

海を渡りて来りしなり。ところどころ「オランダ」人種
[illegible]所にて昨年の六月其痘苗を採り他の小児に種ゑたり。長崎の齋藤直
小児種ゑ。復其痘苗を採り他の小児に種ゑたり。人を
人傳種して諸國に弘まり江戸の人は昨年の冬うつし初め
大諸侯の姫君方種ゑ其殘餘の痘苗を貰ひ上方にうつし
おきたるなり。江戸の疑惑人多くいまだ信ぜず。
此痘瘡は原牛痘苗を人に種ゑ身体痘を免るゝと雖ども
大概は「イギリス」「オランダ」の牛痘を種ゑ小児に人痘を種ゑ
見るも亦深又痘瘡児の中に天下者も亦斯の如き数人
為試に人を復殺さるゝ者形し急度もちひまず良法と

きもつゝ世人に萬國に弘まりたるものなり。其ひとつも
誹議とのゝ賢愚の甚しきといふべし。凡天下の事物習見
たる物を常と思ひ早見聞のものを怪ぶ世の中の人の通情にて習見の事
も道理のゆゑを知らざる事多し。早見新事も道理のゆゑを知ることの
のゝ用ゐる道理のゆゑを知ることの用ゐるのみ。我邦の武器といふものはかりにて
昔ハ鉄砲といふ昔ハ鉄砲といふ。近時「イギリス」流
[illegible]用ゐる。道理を知らざる高道理なり。此節蘭学を
「オランダ」流の鉄術を種ゑ高道理なり。人痘を種ゑ牛痘の道理を
[illegible]。此牛痘も亦[illegible]。古昔より今に至る迄醫薬のもちひも此くの
道理のゆゑなり。此引痘ハ針を種ゑ放ちもし

八歳の出来ものなり。痛みなく小児だらけなれども
それを見て開かせ痛みなくなるべし。大
馬鹿なるものなり。是を知らず無病の小児を多く
出来ること。知らざるゆえ。名を引痘と称し
毒多く出せども。其道理を能きまえたる訳なし
ぶつぶつ抜かず。此道理を能きまえたる訳なし
もなし。抜き種法小児の年齢なれば。両方の腕上下
種なれば。其種を度々発出し。其他の八つも不発
あり。脳あるものは。刻刻度々
潰れ。其人胎毒疱瘡等あり。扁桃小児とも
種なれば。

種の薬を用ひまたもあれども。不用。毒を心もまぶ
すまるものなり。是を江戸中の種を流行疱瘡ハ
絶えなり。諸国万歳種を流行疱瘡を患者ハ
絶えず。一人も疑なし。抜き引痘
屋敷の銭なのを思ひ人多し。中ハ銭なのをすく人
あらず。銭なのを貧人多し。富人貧人相応
出すべき。貧人多しいくらも
金なきものハ。一人も吾一人銭なのを小量
出ず。天下の人大金なのを
銭金なのを。小児の命を救ふ。天下の大切是を勝れ

とし小児の死のすくなく続く岡中人畜息で人畜
息と非常の將軍卒あり人畜息ハ米が
不足して高價なる困窮人あらず長百姓も畜息
原野荒地なる田畑なる湿山等数
多もあり是ハ見たる如かと金等の無様なる
様ハ此ハ馬養骨折ハ也ハ右の通り小児乃
幸不幸ハ両親の決断あるべし去年より今年迄江戸中ハ
幾人か種試て人を損じ此節自然痘の中あり種多者
人を患ず武蔵数多皆牛痘を種中人疑惑して強情
種無者此節自然痘を患て遂ハ皆死亡

後悔して無ハ小児も其痘瘡を成して
却て人ハ此間自然痘神あり種て疑惑て不種
能自然痘神小児をとられ皆強情者人を両親の不
決断由へ非命に死ハ
或ハ春夏暑ハ
種て此引痘ハ暑寒の
自然痘神
百日ばかり
早く種て此引痘ハ自然

疱神大閤屋敷に八丈嶋の為朝公の大悦び来事八間敷
引疱を覆江戸へ出ぬ内とも
度事なれば今日は是ぬぐみ
永日の出る間もなく人々男女
斯なる世を他人も引ぬ事なれば嘉永
三年とかの年の内のもはやあり
八日のよせ火のけ火のとくかの
世をのうちに江戸の世界三つ
いつもの如くあるべし

兵衛佐殿沿世和行高

丁時安政五年
午十二月中旬写之

小寺五

此書八數列 山内上卿所書 山内左衛尉藤原盛政 寛永五年十二月 工藤内
者ども右為照越州家 借得ものを
為後代 武藤[illegible]

一四拾万石 相模 甲斐 三列
一拾七万石 武蔵
一三拾万石 豆州 武蔵
一拾五万石 上野 下野
一四拾万石 近江
一五拾万石 武蔵 甲斐 上総
一三拾万八千石 源氏
一三拾万石 加賀
一二拾万石 大和 武蔵
一二拾万石 大和
一三拾万石 遠江
一二拾万石 上総 武蔵
一二拾三万石 安房

北條四郎時政 高野左衛門尉 日蓮宗 鎌倉右衛門尉 日流 源氏
小太郎義盛 治部重忠
梶原平藏景時 近江 源氏
木四郎高綱
武田太郎信義
庁山三郎盛高
金子家忠
成田弥五郎房之
南部左京之進頼助
豊田弥治郎重氏
江戸民部頼盛
東條五郎高木乃

拾八万石　山城
拾八万石　安房
拾八万石　上総
拾八万石　下野
拾八万石　信濃
拾八万石　遠江
拾八万石　下野
拾八万石　下総
拾七万石　下総
拾六万石　相模
拾五万石　駿河
拾五万石　下総
拾五万石　常陸

源氏

逸見三郎義清　朝比奈氏部是道
黒河弥太郎治綱　結城七郎友光
孫藤弥三郎重道　井上三郎吉盛
那須与市宗高　千葉之助胤綱
三浦大助義澄　足助與市安房
舩越二郎忠平　猿嶋兵衛幸高
佐竹大郎義直

源氏

田代冠者信綱　小笠原弥監頼経
安西兵衛道定　落堀弥五郎義久
吉良大郎是定　内藤治郎秀長
加藤弥大郎遠光　皆川小源太秀重
宇津宮弥三郎爰綱　石堂治郎直政
五郎氏小治文助正　其井藤治久秀
金子近則

拾五万石　豆良
拾五万石　大和
拾五万石　安房
拾五万石　上良
拾五万石　河内
拾五万石　信州
拾五万石　伊勢
拾五万石　下野
拾三万石　河内
拾三万石　越後
拾壹万石　美濃
拾壹万石　豆良
拾万石

一拾一万石　下総門
一拾一万石　信濃国門
一拾一万石　上野
一拾一万石　大和
一拾一万石　信濃
一拾一万石　遠州
一拾一万石　義経
一拾一万石　下野
一拾一万石　相模

小山治部卿幸光
塩屋弥太郎正義
相馬治部卿依胤
奈大部卿秀治
村上判官代安國
行方三郎秀房
下山弥三郎久茂
庁相三郎光長
濱谷小太郎貞永
藤堂民部大夫高重
大田原判官義重
柴田三郎秀意
梶原源太景秀

一拾七万石
一拾三万石
一七万石
一七万石
一五万三千石
一三万石
一五万石
一七万石
一五万石
一三万石
一壹万石
一壹万八千石

下野
相模
武蔵
武蔵
武蔵
相模
武蔵
武蔵
甲斐
門

治承三年三月九日大野太郎藤内遠景ニ方ル

壹万八千石　近江
相模

同　平治　景高
曽我大郎助信
熊谷治郎直實
土屋兵衛尉高
本間弥五郎信高
足助中務義元
川越大郎重房
大内郎重安
板垣三郎兼信
佐々木四郎忠頼
加賀見二郎遠光
佐々木四郎宗五郎元康
和田太郎義次

二万石　武良門　白山太郎　白山太郎　童氏
壹万石　門　弥左衛門　成田小兵衛房次
壹万石　門　直賀子　熊谷小治郎直家
二万石　豆良門　牧山太郎　和口弥源次高正
五万石　門　奥田寺市義貞
三万五千石　辻口　木村源蔵義秀
壹万石　相良　堀野弥大郎経高
壹万石　門　同　佐助経治
三万石　武良　平山武者丞秀重
三万石　門　兒玉黨　国部六弥太忠陽
三万石　門　猪役小平太朝次
三万石　門　別府小太郎清重
三万石　門　横見兵内氏助

一万石　門　吉田黨　横山四郎安次　国井四郎助高
一万石　門　木下左衛門勝茂　河原太郎高尚
一万石　武良豆良茂　駿州津田生田党　同　次郎　盛
一万石　豆良久　真鍋五郎久光　相良豆良久　後藤兵衛實之
一万石　門　同　新内　同
壹万石　門　右之内　直　長澤五郎實政
一万石　門　下総　木村平内左衛門童房
一万石　同　小原小次郎兼高
一万石　門　丹波宮内久盛
一万石　門　上総　見村大郎久氏
六万石　佐原重郎　茂次
五万石

三	一万石	越後	同
壹	一万石	豆州	同
一	一万石	武州	同
五	一万石	相州	同
五	一万石	豆州上條	同
三	一万石	駿河	同
五	一万石	上州	同
七	一万石	河内	同
七	一万石	門	同
七	一万石	同	同
五	一万石	上州	門

涙谷藤太貞重
伊谷四郎支政
稲下三郎高光
大井弥太郎遠平
新田四郎忠綱
高橋弥四郎之本
長北三郎諸光
長南二郎光重
金田小弥太重高
小幸代源太高重
山名右馬亮氏次
小田藤内氏之
庁間三郎政久

三	一万石	同	同
八	一万石	同	同
四	一万石	同	同
二	一万石	安房	同
壹	一万五千石	信州	同
七	一万石	同	同
八	一万石	同	同
三	一万石	遠州	同
七	一万石	同	同
三	一万石	伊賀	同
三	一万石	同	同
七	一万石	勢州	同

山内宮内左門重高
依田三郎幸安
真壁与市是久
金丸判官本茂
金藤三郎是吉
黒田小四郎支高
村上治部是重
石山又十郎安意
白川兵衛量重
佐久間庄司是吉
西越二郎經道
今川十郎本光
杉浦兵衛是道

一八万石　英氏同、梶原ヶ嶺　山本次郎兼光
一七万石　八谷冠者高頼
一七万石　下野　足利庄司次郎光忠
一三万石　同　堀野九郎近忠
一壹万石　豆氏　小間兵衛安助
一七万石　同　大橋源内義正
一七万石　駿氏　村越宮内重光
一拾八万石　豆氏　工藤左衛門祐經

揔人數百弐拾五人

知行高千弐百五拾壹万石

従五位尉兼伊豫守源朝臣九郎判官義經　三拾万石
伊豫國
家中給帳五百石以上

一壹万石　治信子　佐藤　藤太郎義信
一壹万石　忠信子　同　小太郎義忠
一八万石　城下　伊勢三郎義盛
一三千石　侍大將　源八兵衛廣綱
一三千石　西堂武藏坊辨慶
一三千石　鈴木三郎重家
一二千石　亀井六郎重清
一二千石　鎌田小五郎正秀
一二千石　片岡太郎常春

二千五百石

熊井太郎義氏

家光

増尾權之守兼房

江田源蔵義則

備前平四郎常則

美尾谷十郎貞明

岩部弥五郎為國

義經ノ御内室ノ兄

川越三郎重頼

重頼ノ三男

鷲尾三郎常春

常陸坊政存

春山四郎久正隆

駿河二郎清重

足達新三郎祐高

安西六郎道長

千五百石

千五百石

千五百石

文治四年戊申五月十日

奥州高舘ノ小寺ノ腰張紙ニ有之ヲ写而写之

享保十七年壬子五月日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]時[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

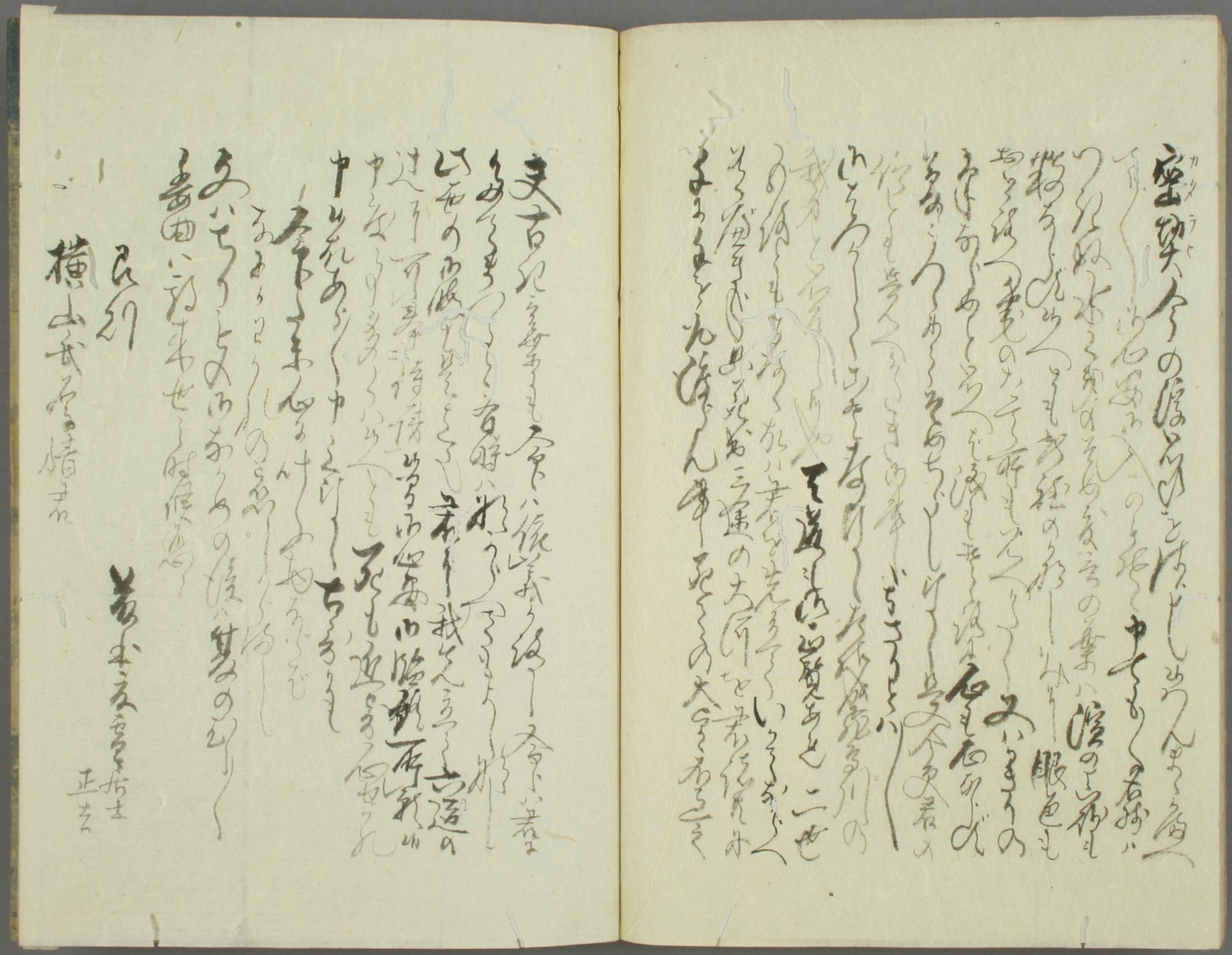
[illegible]

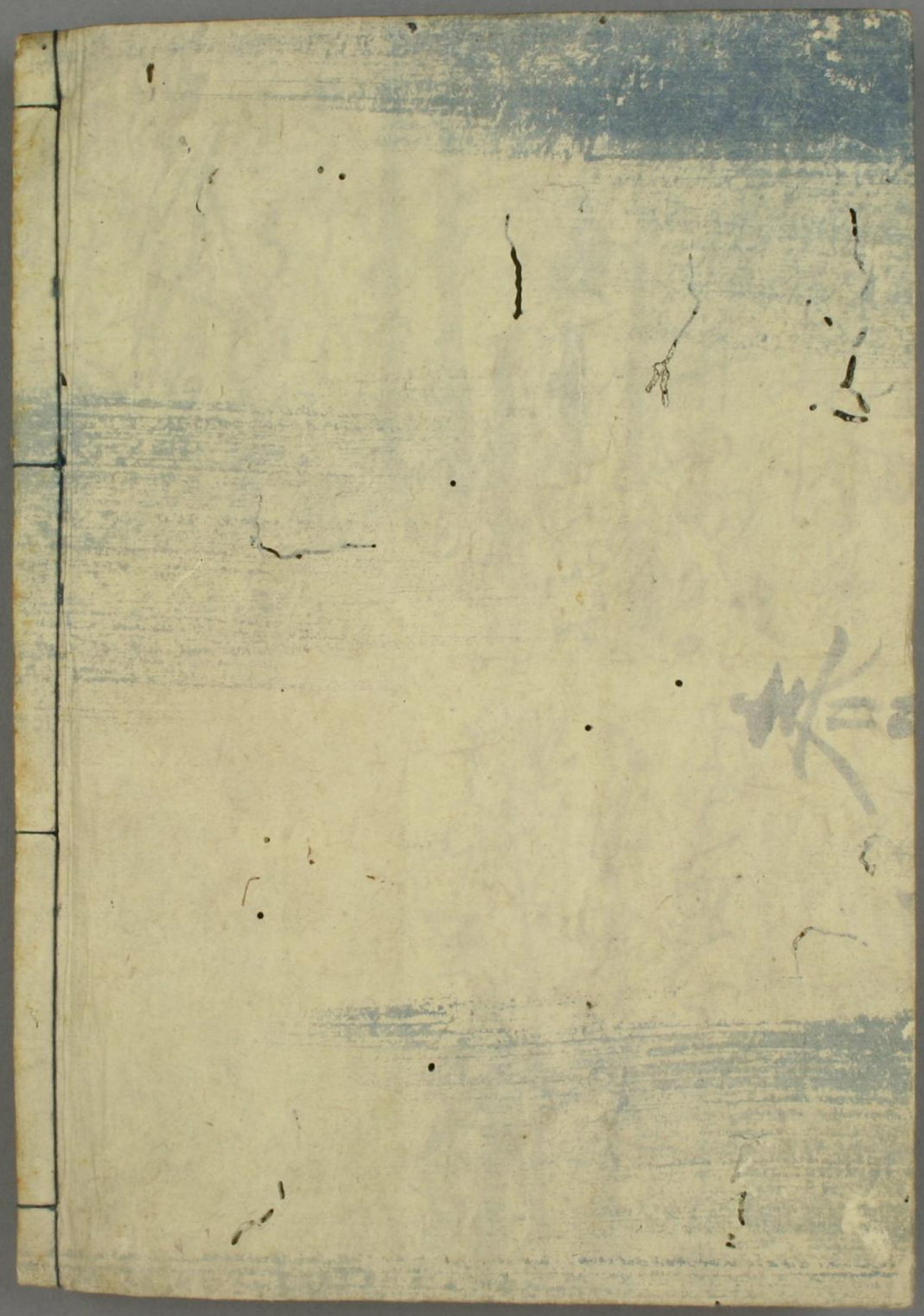
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



未書曰右兩人ハ加賀金澤之住横山氏ハ十三歳
ヨリモニ石口ヲカヘノ身ト羅成弥二其貌挑ノ矢ニ
トコロルワシリ其業薬ミトサカシニ誠ニ愛情ノ
志深リ有シ故見ル人ハ更ナリ聞人君ヒニ心解ヲ
ナヤマサズトヲモヒナシ愛ニ壹人ノ愚男アリ
其名ヲ藤本十郎右衛門トヨヘリ吉ハ若ノ紅
顔ヲ一度拝セシヨリ以来恋者ノ思ヒ重ル春
述懐スルトイヘドモ其身フツヽカニシテ無徳ノ義
恩ニシテ理道ナシ孤ヲ脱ス相撲ノ
ハカナキ無常ノ風ヲ聞ヒ音信ニ
ニヤ頼母風ノ音信ニ聞ヒヨリイトアハレニ思ヒ身賤
ノ薄ナリ其志ヲ感シ遂ニ別離苦ノ理リ
免カタシ十郎右衛門思ヒヨラズモ終ナラヌ身ト
羅成弥ニ右ノ人ノ命ヲ奉君ノ恩ヒアリガルトイヘドモ
セメテ問ヒ人モナシ仲秋家中ノ日ニ生ヲ三ツ
終ニハ二十有一ノ命ヲ奉君ノ身骨ト
成ル此故ニ頼母勝ノ弥重ノ三ツおノル花
ノ未実クヲ不得シテ其夜ノ嵐ニサワリ落花
時ヲ得ザリシ嗚呼悲哉一日トシテ深志ヲ
ホ乙井ノ終ニ詰ル十ナリクガヒニシノビ終ニ
ハ石龍山ノ若ノ下露ト成シテ我ル行身トシテハ
エトノ業ヲ十ト無人感涙袖ヲ濡ス誠ニ
美少年世界ニ多シトイヘドモ其イキナ此君ニ
比スルハナシ花不破ノ何其カ少ニ原信州ト

橋下ノ子ギリ弁慶ニ云サテ当世ノ若衆ハ弁慶ヲ
鎧トシテ イキ込ヲ ヒガリベシ 誠ニ面無美ヒ其ノ見
ユウビニシテ 蘭奢ノ香紛ラト 楊貴妃 利 ヒ人ニモ
越ハトイヘ共 世ニ隨ヒ時ニフル 習ヒニヤ 若衆天然
愛合 自貴 貴賤ノ弁可以 御意ヲ ウリウスキ人 多
ニ文リヲヘメテ一合ノ